



# 平塚と ともに 生きてきた

平塚市と同じ、  
昭和7年生まれの  
中川周吉さん

私は中原の生まれです。当時、中原御殿のお堀が残っていて、歴史を肌で感じられるような地域でした。親戚もたくさんいて思い出がたくさんあります。結婚を機に東八幡に引っ越してきました。平塚駅から電車に乗って東京へ仕事に行く毎日でしたが、平塚駅に行く途中の右手に、海軍火薬廠の塀がずっと続いていました。当時と比べると、まちの様子はずいぶんと変わりましたね。国道129号も、工事をしている時

から見てきました。初めは田んぼの中に真つすぐの大きな一本道があるだけで、まるで飛行場の滑走路のようでした。

定年後は、七夕まつりの飾りを作るボランティアをしていたほか、市民活動団体「平塚M.A.C」で男性向けの料理教室などを開く活動をしたり、老人クラブに所属したりしています。近年は時代の変化からか、個人で趣味などを楽しむことが多くなっていると思います。しかし私はこういう時代だからこそ、人とのつながりを大切に、仲間との時間を大事にしたいと思っています。それから、小田原に住む2歳と1歳のひ孫に会いたいですね。新型コロナで会うのを控えています。5月の節句にお祝いしたいと思っています。

平塚は昔から、人が集まってきて活気があるまちです。今は少しさみしい気がしますが、新型コロナが落ち着いたら、元気なまあの姿に戻って、将来へずっと続いていってほしいですね。

## 90周年を記念するイベントなどが目白押し

右表は、市制施行90周年を記念する事業の一部です。この他にも、中央図書館・博物館・美術館の展示や、ひらしん平塚文化芸術ホールでのイベント、毎年恒例のイベントに90周年を記念する内容を盛り込むなどして、平塚を盛り上げます。一覧を市ウェブで公開していますので、ご覧ください。下次元コードからアクセスできます。

広報ひらつかでも、市制施行90周年記念事業を紹介する際に、ロゴマークを使ってお知らせします(下例)。ぜひチェックしてみてください。

事業名	実施場所	実施時期
記念パネル展	ららぽーと湘南平塚	4月10日(日)まで
	市役所本館	9月1日(木)~16日(金)
	地区公民館(未定)	未定
記念ご当地ナンバープレート交付	本館2階市民税課	6月2日(木)から交付
NHKのど自慢	ひらしん平塚文化芸術ホール	6月19日(日)
湘南ひらつか七夕まつり	平塚駅北口中心商店街など	7月上旬
湘南ひらつか花火大会	湘南潮来	8月下旬
SOMPOボールゲームフェスタ2022	ひらつかサン・ライフアリーナ	9月3日(土)
特別講演 中さんとの思い出	中央図書館	10月中旬
平塚版SDGs自分ごと化プロジェクト	公共施設・市内各所	10月中旬から動画を公開
ねりんピックかながわ2022 ひらつか交流大会	トッケイセキュリティ平塚総合体育館	11月12日(土)~14日(月)
インクルーシブ遊具広場の整備(下記事)	総合公園平塚のはらっぱ	12月完成予定
湘南ひらつか名産品選定		令和5年3月発表予定
市制施行90周年記録映像及び冊子		令和5年3月完成予定
屋外彫刻再発見事業		通年



例  
90周年イベント

上のよう  
にロゴ  
マークを  
使って  
お知らせ  
します。



新型コロナの感染状況により、イベントなどが中止となる場合があります。ウェブをご覧ください



## 販売中 フレーム切手

市制施行90周年を記念したフレーム切手です。昨年9月~10月、「これまでの平塚、これからのヒラツカ」をテーマに写真を募集し、選ばれた8枚が切手になりました。

3月22日から、市内の各郵便局・市役所本館2階のコンビニエンスストア・郵便局のネットショップで、先着1,000部を販売しています。1シートに84円切手が10枚付いて、1,330円です。

平塚豊田郵便局 ☎31-4328

## 注目事業

### インクルーシブ遊具



完成イメージ図

#### インクルーシブ(inclusive)

「含めて」「全てを含んだ」「包括的な」などの意味。インクルーシブ遊具は、障がいの有無にかかわらず、皆が楽しく、安全に、一緒に遊べる遊具のことをいいます

わんぱく広場の隣、平塚のはらっぱの西側エリアに八つの遊具をつくります。コンセプトは三つ、「障がい児と健常児が自然と一緒に遊べる魅力ある遊び場所」「障がいの種類や程度によって多様な使い方や遊べるさまざまな遊具」「付き添いの人も安心して見守れるゆとりのある空間」。テーブルで高くなった砂場や、車いすに乗ったまま遊べる遊具、音の出る遊具などを設置し、障がい児と健常児が、一緒に遊ぶ中で自然体で関わり合える環境をつくりたい。

どこにつくるのか、どのような遊具を置いたらよいか、どのような空間にしたらよいかなどを考えるに当たって、障がい福祉関係団体や特別支援学校、幼稚園・保育園など116の団体に意見を聞きました。その後、市内の団体などへのヒアリングを重ね、東京都での先事例に携わるNPO法人に話を聞くなど、さまざまな意見を取り入れました。完成は12月の予定です。